

ホームと家族を結ぶ

# おとずれ 154号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X : 0974(42)4187

E-mail : info@ninun.or.jp

<http://ninun.or.jp>

編集・発行

任運荘広報委員会

平成31年度

# 任運社入社式

一緒にがんばりましょう」と祝辞を述べられました。

新人職員代表挨拶は、騰々舎職員の伊東史生さんより「私が高校生の頃、一度任運社の盆踊りの様子を拝見させていただ

4月1日(月)10時より、

入社式に際し「新人職員と申し上げま

したが、それぞれ多くの社会経験を積

社式がデイサービスセン

ターなごみ塾のホールで

経験が数ヶ月積まれた方もいます。こ

行われました。

新たに任運社職員とし

から皆さんは社会福祉施設で介護を中

て紹介され、左記の通り

に配属となりました。

心とした現場に入っていきます。現場と

【任運荘】

理念・理論は考える努力が必要です。実

践は経験によつて得られるものですが、

寮母職 田村 恵美

実践と理念が合わさったものを、皆さんに

期待します。任運社には先人たちの教え

寮母職 伊東 史生

があります。新人だけが学ぶのではな

く、私も含め職員全員で学んでいきまし

【騰々舎】

よう。まずは、優しさを学んでください。

優しくあれ!ということですよ」と激励の

寮母補助 軽木富士枝

挨拶をしました。

任運荘利用者を代表して、平井綾子

調理職 藤川 京子

皆さんから「不安なこともあるでしょう

が、私たちは寮母さんが笑顔でお世話し

【なごみ塾】

てくれることを心待ちしています」と歓

迎の挨拶をされました。次に、騰々舎利

寮母職 松岡 美洋子

用者自治会長の甲斐修さんより「最初は

緊張の連続でしょうが、先輩職員が優し

看護職 井野 淳子

くアドバイスをしてくれると思います。私

達、利用者も心が和めるような雰囲気

配食 川邊 より子

づくりをお手伝いさせていただきます。

利用者代表挨拶

看 加藤 光枝

平井綾子さん

新人職員代表挨拶

配 板井 謙三

伊東史生さん

伊東史生さん



利用者代表挨拶  
平井綾子さん



新人職員代表挨拶  
伊東史生さん

任運社理事長廣本賢郎の  
歓迎挨拶では、

# 第44回 社会福祉法人 任運社 五月祭 ご案内

開催日：5月12日(日) [雨天決行です]

会場：テイサービスセンターなごみ塾 ホール・中庭

●作品展示：任運荘談話室・騰々舎ホール・なごみ塾食堂

●式典(表彰)：10時00分～10時30分

●アトラクション：10時30分～11時30分

①豊友会 太鼓 ②エイサーの演舞 ★プログラムは変更する場合があります。



●模擬店：11時30分～14時00分(閉店)まで

※駐車場完備しています(係がご案内いたしますので、指示に従っての駐車をご協力お願いします)

## 任運社 施設内研修会

2月27日(水)18時半より、任運社全職員を対象とした認知症についての研修会を、山内勇人氏を講師にお招きしテイサービスセンターなごみ塾ホールで開催しました。『認知症との向き合い方』をテーマに「どんな愛で認知症の方と向き合いますか?自分だったら親だったらと気持ちや落ちこむ事が大切」認知症になると様々な薬が処方されるが、どの程度効いているのか?現状維持の効果があるのは7人に対して1人。効いていると言われるのは42人に1人の割合。副作用も多い事を知ってもらいたい。夜間不眠時、現場からは「良く眠れる様に処方して欲しい」と薬に頼ってしまう傾向にある。帰宅願望は当たり前。帰る家があるから。今居る場所の居心地を良くする事を考える。帰宅願望を取り除く薬などない。利用者はなぜうつむいているのか...それは、誰にも話かけられないから。認知症の人は心理的にボロボロ。でも1人の人として今を生きている。誰かの役に立てる自分の役割を生きがいにする様に支援する。「私はリウマチである母のおかげで医師になりました」と言われた。職種は介護職以外の職種を含め71名が参加しましたが、全職種が同じ研修に参加できたことで共通の認識をもつ事ができました。今後もこの様な研修会を任運社衛生委員会企画します。

吉野明子

講師 プロフィール

やまうち

はやと

山内 勇人氏 (認知症サポート医)

内科専門医)

一般社団法人 共生社会実現サポート機構

『とんとんとん』代表理事



熱演される山内勇人氏

★広報委員のひとり言(へ)...

車を買います!今まで、中古車ばかりでしたが、今回、人生で初めて新車を購入します!嫁からスライド式の車が欲しいと言われ続け早何年...私もやっと決断スライド式を購入しました。ただ、G.W.には間に合わないかも...

# つぶやき

## 眞部

「もうゼンマイ取りの季節になりましたよ」

と話しかけると、「はい」と答えられる。「秘密の場所がある様ですが、教えてくれないんですか？」と聞くと、

「教えん！」

とはっきり言われ、ニコツと笑いました。

## 渡部 長義

寮母主任の業務が終わり、「帰りますよ」と話していると、渡部さんから手招きをして呼ばれる。

「どうしましたか？」と聞くと、

「あんたにちよつと会いたかったんや」と、笑顔で一言。

「そんな事を言われると、帰れなくなりますよ」と嬉しいけど困る寮母主任でした

## 平井 綾子

外出ドライブに参加され、原尻の滝のチューリップを見に行かれました。

「チューリップや桜の花はいかがでしたか？」と聞くと、

「あんなあ、花よりもお店を見るのが良かった。半年以上、お店を見てなかったわ。久しぶりにお店を見たわ」と満面の笑顔。念願の『ゆで餅』も食べられて良かったですね。

## 五嶋

ホールにいる利用者（同じ地区の方）に会いに行かれ、「あんた、わかったでえ」と、目を丸くした後、笑顔になりました。

## 渡邊 八重

寮母のお腹をじっと見て

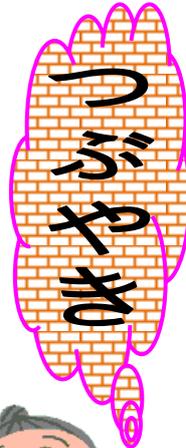
「あんた赤ちゃんおるの？」と聞くので、「いいえ」と手を横に振ると

「そうな・・・ぶぶ。」と、めったに笑わない方なのに笑ってました。

## 柿原 幸夫

節分行事にて、鬼が「ガオー」とせまると、

「どしたんな。」と、全く動じず紳士でした。



## 衛藤 千代子

寮母が風邪を引いて、咳をしている姿を見て、

「咳が出る時は、お茶でうがいをする」といと思うよ。静岡県では子どもにもお茶でうがいをさせるつちテレビで見ながら、私もお茶でしよつたんよ。」と、心配しながら教えてくれました。

## 田北

対話会で、「行きたい所はありませんか？」と寮母が聞くと、

「歩けんき、いかん。」と言われる。

車で行く事を伝え、「御嶽山など行きませんか？」と寮母が尋ねると、

「あんた、あげんところはイノシシが出るで！」

## 後藤

熱発されてベッドで休まれていた時、看護師が検温に行くと、枕の横をたたき、

「ここに来て話そうえ。でも、忙しいから悪いわなあ」と言われました。

## 河原 子 工藤 幸子

「今日は晴れちよん。」

と、河原さんがつぶやく。

「河原さん、今日は晴れていますね。」と、寮母が工藤さんのそばで言うと

「晴れちよんな」と工藤さんもつぶやく。

## 渡邊 八重

相談員の後ろ姿を見て、

「あの人、お金持ちやろ。」と言う。

傍の寮母の方も見て、

「あんたもお金持ちやろ」と言う。向かいにいる、少しやせぎみの寮母をちらっと見たが何も言わなかった。

# 節分



2月3日(日)15時30分より、ホールで節分行事を開催しました。

今年の年男・年女は、首藤文彦さん、衛藤千代子さん、後藤ユキエさんの3名です。3名の方々には、代表で、職員扮する赤鬼、青鬼にめがけて福豆を投げてもらいました。続いて、他の利用者にも投げてもらいました。

芦刈トヨさんは、鬼が「ガオ〜」と言いながら迫って来ると、手に持っていた豆を投げずに「はい、お食べ」と鬼に差し出しました。三谷高明さんは、鬼が「ガオ〜」と向かって来たのですが、負けずに「ガオ〜」と言われ、笑顔でした。

利用者が「鬼は外、福は内」と豆を投げ、鬼は「痛い、痛い。まいました」と転がるようにホールから退散していききました。その様子を見て、皆さん大笑いし、元気な声がホール中に響き渡りました。

任運荘の厄も祓われ、今年も利用者が元気で過ごしてくれることでしょう。とても賑やかで楽しい節分行事でした。

担当 高山 悦子



芦刈トヨさん「はい、お食べ」



年男・年女が鬼に豆をまきました



今年109歳になられる佐藤亀代さんは元気にハイタッチ



三谷高明さんは鬼を睨みつけ「ガオ〜」と言



河原ヨシ子さん、驚いていない様子



三代キヨコさん「あっち行って」



佐藤富子さん、鬼と記念撮影

居室にて

### ふるさと訪問 芦刈トヨさん

真冬にしては暖かい日の1月25日(金)、ご家族に迎えられ三重町芦刈の自宅に帰りました。お昼ご飯を食べてから、ご家族から「歌って、歌って」と囃されて、お得意の歌を披露してくれました。

「なぜか『軍歌』が多かったですね。昔の母は、控えめで一歩下がって夫を支えるタイプでしたが、父親が亡くなった今は、思う存分出来ることをして元気に生活してほしいと思います」というご家族のご意向と感想をいただいています。久しぶりの自宅を満喫し元気に戻られました。

担当 森 園美



長男御夫婦と記念撮影



帰り着くとすぐにお参りしました



親子で記念の一枚です。

### とろろり チョコレートフォンデュ

任運荘では月に1回、喫茶を開催しています。喫茶は、利用者参加型のおやつの日です。

3月はホワイトデーの日にチョコレートフォンデュをしました。具材(バナナや苺など)を利用者に選んでもらい、とろろりと溶かしたチョコレートにつけて食べます。最初は「これはなんな？」と、物珍しそうに見ていましたが、実際に口にとると、「あまい」「おいしいわあ」と笑顔で召し上がっていました。お皿についたチョコレートまで、きれいに食べてしまう姿に心が和みました。

管理栄養士 上田 桃子



食べたい具材を利用者に選んでもらい、チョコレートでたっぷりコーティングしました



田北カスエさん「アツアツだねえ。初めて食べたよ」



高山つよしさん、「甘い」

# お花見会



4月9日(火)の10時から、お花見会が開催されました。今回は、『筑月会』(代表 原尻民子様)と『中央カラオケ』(代表 衛藤芳弘様)の皆様が来荘され、利用者に優雅な日本舞踊と心に響く歌声を披露してくれました。

筑月会による演目は左記の通りです。

1. 高砂の舞
2. 恋の柳橋
3. 峠越え
4. 南国土佐を後にして
5. 花と龍
6. 天命
7. 望郷ひとり酒

中央カラオケの曲目は左記の通りです。

1. 君がいし
2. シャンシャン馬道中歌
3. 無法松の一生
4. 伊万里の母



利用者は、日本舞踊にうっとりされ、カラオケでは一緒に口ずさんだり手拍子をされたりと、楽しい時間を過ごしました。利用者を代表して高山ヒサコさんが、「とても素晴らしいものを見せていただきました。ありがとうございました」とお礼の挨拶で会を閉じました。

優雅な日本舞踊と心温まるカラオケの後は、房手作りのお花見弁当です。巻き寿司や煮付けなど利用者の好物が入っており「美味しいなあ」と皆さん完食しました。



厨房の手作りお花見弁当



田部八千代さん



佐藤秀子さん



和田静子さん

午後からは、職員によるアトラクションで、花傘音頭を披露しました。利用者の中には、手を動かし一緒に踊っている方や笑っている方もいました。

最後になりましたが、お花見会を盛り上げてくださいました、『筑月会』と『中央カラオケ』の皆様、本当にありがとうございました。中庭の桜の花びらが舞い散るなか、任運荘ホールには、利用者に笑顔の花が咲き誇りました。

担当 高倉 智恵

## 須藤寮母主任 お疲れ様でした

平成31年3月31日(日)に、須藤けさ代寮母主任が定年退職を迎え、利用者と職員でお別れ会を開催しました。

須藤主任は、任運荘に33年勤務され、騰々舎で17年、任運荘で16年と永年の勤務でした。また、平成28年からは、任運荘の寮母主任として利用者想いだけでなく、どの職員にも分け隔てなく優しく気遣いの出来る方でした。

お別れ会では、須藤主任が入社してから一緒に働いた経験のある、利用者の村上昌子さんが「小さくて可愛らしい方が入ってきたと覚えていきます。最初は自転車通勤されていましたがね。小さい子どもにお乳をあげるために、休憩時間に家との往復は大変だったと思います。今まで本当にお疲れ様でした」と労いの言葉をかけました。また、号泣する利用者もいました。任運荘は4月から新たな体制で頑張っていきます。須藤主任の利用者に対する接し方を模範として、『利用者本位』に努めていきます。須藤主任、本当にお疲れ様でした。



いつも素敵な笑顔ありがとうございました

4月7日(日)に、原尻の滝へチューリップ見物に行きました。この日は、チューリップフェスタも開催中で、沢山の観光客で賑わっていました。午前中参加したのは、衛藤キヨさん、後藤ユキエさん、村上昌子さんです。売店でチューリップソフトを購入して、滝を見ながら召し上がりました。村上さんは「ソフトクリームはカップよりコーンがいいわ。頬張って食べるのが美味しいの」と言われ、手でしっかりと持ち、頬張っていました。その後は、チューリップ畑を散策しました。後藤さんは衛藤さんに「見てえ」と話しかけ、衛藤さんは「あゝきれいじゃあ」と言われました。

帰り際に村上さんが「久しぶりにゆで餅が食べたわ」と言われたので購入し昼食時に食べました。「とても美味しかった」と笑顔でした。

午後からは、衛藤千代子さん、衛藤文子さん、小野春子さんが行きました。衛藤千代子さんは「チューリップを見に来るのは2回目かな、きれいやな」と笑顔で一杯でした。衛藤文子さんは風が少し冷たく感じたようでしたが、ソフトクリームは食べたと言われ、原尻の滝を眺めながら召し上がられました。小野春子さんも終始笑顔で、チューリップ見物を楽しまれたようでした。天気も良く、チューリップも桜も見ることが出来、皆さんからは、「とても良かった」との言葉も聞かれました。またお連れしたいと思えました。

担当 小平菜穂子



衛藤千代子さん、久しぶりの外出を楽しめました



チューリップと原尻の滝を背景に1枚



後藤ユキエさんアイスに「おお冷たい」



チューリップを背景に1枚



小野春子さん、チューリップ共に綺麗です。



衛藤文子さんは、原尻の滝を眺めながら食べました



衛藤キヨさん、爽やかな笑顔ですね



ソフトクリームは頬張るのよ、と村上昌子さん

# ノーフティンゲア

これから私達が取り組むこと

ノーフティンゲア新規取組施設実地研修が、任運荘では平成31年1月から3月にかけて行われました。これは、県内で新たにノーフティンゲアに取り組み施設に、大分県より推進施設と認定された施設職員が派遣され、これからノーフティンゲアにどのような取り組みをすべきかと指導を行う研修です。任運荘には、由布市の『特別養護老人ホーム若葉苑 係長 金子真樹氏』が来荘され、羽田野瞳寮母と宮崎正規相談員が研修を受けました。ノーフティンゲアの基本動作、そして施設において短期、中期、長期目標の作成を行いました。

まず、任運荘が取り組む事は、職員の現状把握(腰痛)です。このノーフティンゲアは職員の腰痛予防と何より利用者の拘縮予防にもつながっています。そのためには、職員のアセスメント、利用者の拘縮のアセスメントを行っていきます。私達は、利用者の笑顔を見ることが一番の幸せだと常に思っています。長い時間、車椅子に座っている利用者にはスライディンググロブで圧抜きをすると「あゝ気持ちいい」と言いながら笑いかけてくれます。今年度は、移乗用にリフトも導入予定です。職員の腰痛予防、そして利用者の拘縮予防に努めていきます。

担当 宮崎 正規

チューリップ見物

春のお出かけを或っして

平成31年3月30日(土)、原尻の滝のチューリップ見物に行ってきました。午前中に参加したのは、衛藤八枝喜さん、高山ヒサコさん、古庄信子さんです。古庄さんは、原尻の自宅前で記念撮影しゆくり散策しました。『つくし』や『ほとけのざ』など、野花を職員が摘んで渡すと懐かしそうに見ていました。高山さん、衛藤さんは、チューリップを見て「綺麗に並んじょんわ。植えた人は大変じゃうたろう」と関係者の方を労っていました。大きな水車と茅葺屋根などが、昔にタイムスリップしたような景色でした。裏手に去年のかかしが置いてあり、職員は本物のようなかかしに驚いていると、高山さんはかかしの衣装を見て「花嫁衣裳やなあ。私の嫁入りを思い出すわ。みんな昔は、こげんふうじゃったんで」と教えてくれました。満開の桜とチューリップを見た後、道の駅で買い物をし、ゆで餅やソフトクリームを食べました。



皆さん素敵な笑顔ですね



古庄信子さん、ご自宅前にて



高山ヒサコさんは、懐かしい衣装に見とれてました



「立派なゼンマイじやわ」と

衛藤八枝喜さん

午後、後藤イサヲさん、平井綾子さん、三代智子さんが参加しました。平井さんは「チューリップより何より、店に買い物に来たことが久しぶりで嬉しいわ」とゆで餅を買って食べました。チューリップと桜を散策中、三代智子さんが上を見て「あれ見ちみなあ。カラスが巣をかけたよんで」と言う。「え？」と皆で見上げると、桜の木の上の方に巣がありました。「おお」とどよめきの声わきあがりました。後藤イサヲさんは、水車を見て「こりゃ、おっきなタイヤみたいじゃ」と驚かれ、また通りすがりの赤ちゃんを見て「あ、ちよつと見て、可愛いなあ」と手を伸ばしていました。

色彩豊かな春を満喫し、桜やチューリップ以外にも楽しい催しがありました、やっぱり花より団子、と確信したドライブでした。

担当 森 園美



大きな水車の前で記念の一枚。皆さん笑顔が素敵ですね



プリンを食べる三代智子さん



後藤イサヲさんは野花を摘みました



平井あやこさん、念願のゆで餅に大満足